

接 続 検 討 申 込 書

四国電力送配電株式会社 御中

電気事業法等の関係法令、政省令その他ガイドライン、電力広域的運営推進機関の送配電等業務指針及び関係する一般送配電事業者の約款・要綱等を承認の上、以下のとおり接続検討を申し込みます。

代表者氏名

住 所 〒○○○-○○○

(フリガナ) (△△△△△△△△)
事業者名 ○○○○発電株式会社

申込者氏名 ○○ ○○ 印

(1) 発電設備等設置者名 (フリガナ) (仮称可) 一般送配電事業者の親子法人等 該当有無	△△△△ ○○○○発電株式会社 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(2) 発電者の名称 (フリガナ) (発電所名、仮称可)	△△△△ ○○○○発電株式会社 ○○発電所(仮称)
(3) 発電設備等設置場所	○○県○○市○○町○○番地○
(4) 連系先一般送配電事業者	四国電力送配電株式会社
(5) 既設アクセス設備 ^{※1} の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※1：アクセス設備：発電設備等を送電系統に連系するための流通設備
(6) 発電設備等変更の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 有 [増設・減設・更新・廃止・その他 ()] <input type="checkbox"/> 無
(7) 契約種別 ^{※2} (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 連系先となる一般送配電事業者と受給契約を締結予定 (国が定める再生可能エネルギー電源の固定価格買取制度の適用予定の場合) <input type="checkbox"/> 連系先となる一般送配電事業者たる法人の小売部門と受給契約を締結予定 <input type="checkbox"/> 上記以外の小売電気事業者と受給契約を締結予定 (連系線利用(予定) 有・無) <input type="checkbox"/> 未定 ※2：一般送配電事業者たる法人が分社化されている場合は記載を省略できます。
(8) 連絡先	【連絡先】 住所 〒○○○-○○○ ○○県○○市○○町○○番地○ 事業者名○○○ 所 属○○○ 担当者名 (フリガナ) ○○ ○○ (△△△△ △△△) 電 話○○○-○○○-○○○ FAX ○○○-○○○-○○○ e-mail○○○○@○○.○○.○○
	【技術的事項に関する連絡先 (上記と異なる場合のみ記載)】 住所 〒 事業者名 所 属 担当者名 (フリガナ) 電 話 FAX e-mail
(9) 特記事項	・最寄りの電柱は●●●号柱。

※電力広域的運営推進機関もしくは一般送配電事業者は、本申込書の情報を系統アクセス業務の実施のために使用します。

発電設備等の概要

年 月 日

発電設備等設置者名

1. 希望時期

(1) アクセス設備 ^{※3} の運用開始希望日	2018年 6月 1日
(2) 発電設備等の連系開始希望日 (試運転) ^{※4}	2018年 10月 1日
(3) 発電設備等の連系開始希望日 (営業運転)	2019年 2月 28日
(4) 発電量調整供給又は振替供給の終了希望日 〔発電量調整供給又は振替供給の希望契約期間〕	[年 月 日・希望なし

※3：アクセス設備：発電場所と送電系統を接続する設備 ※4：運転開始前の試運転など、送電系統への送電電力を初めて発生させる希望日を記載

2. 希望受電電圧・予備電線路希望の有無

(1) 希望受電電圧 ^{※5}	6.6 kV
(2) 予備電線路希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
希望する予備送電サービス	<input type="checkbox"/> A (予備線) <input type="checkbox"/> B (予備電源) (kV)
予備送電サービス契約電力	kW

※5：接続検討の結果、希望受電電圧以外となる場合もございます。

3. 電源種別

<input type="checkbox"/> 火力 (LNG: Conv)	<input type="checkbox"/> 火力 (LNG: CC(1,100℃級))	<input type="checkbox"/> 火力 (LNG: ACC(1,300℃級))	<input type="checkbox"/> 火力 (LNG: MACC(1,500℃級))
<input type="checkbox"/> 火力 (石炭)	<input type="checkbox"/> 火力 (石油)	<input type="checkbox"/> 一般水力 ^{※6}	<input type="checkbox"/> 小水力 ^{※7} <input checked="" type="checkbox"/> 太陽光
<input type="checkbox"/> 風力 (陸上)	<input type="checkbox"/> 風力 (洋上)	<input type="checkbox"/> バイオマス (専焼) ^{※8※9}	<input type="checkbox"/> バイオマス (石炭混焼) ^{※9}
<input type="checkbox"/> バイオマス (LNG混焼) ^{※9}	<input type="checkbox"/> バイオマス (石油混焼) ^{※9}	<input type="checkbox"/> 廃棄物 (バイオマス (専焼) を除く) ^{※9}	<input type="checkbox"/> 原子力
<input type="checkbox"/> 地熱	<input type="checkbox"/> その他 ()		

※6：発電機定格出力1,000kWを超えるもの。 ※7：発電機定格出力1,000kW以下のもの。
 ※8：バイオマスに該当する廃棄物のみを燃焼するものを含みます。
 ※9：地域資源バイオマスに該当する場合は、様式1「(9) 特記事項」にその旨記載願います。なお、その場合で燃料貯蔵や技術による制御等により出力抑制が困難となる見込みである場合も様式1「(9) 特記事項」にその旨記載願います。

4. 発電設備等の定格出力合計^{※10}

(1) 変更前	台	kW (℃)	kW (℃)	kW (℃)
(2) 変更後	1台	2,000 kW (℃)	kW (℃)	kW (℃)

※10：ガスタービン等、外気温により発電出力が変化する場合には、各温度における発電出力を記載

5. 受電地点における受電電力 (送電系統への送電電力)^{※11}

(1) 変更前	最大 ^{※12}	kW (℃)	kW (℃)	kW (℃)
(2) 変更後	最大	1,998 kW (℃)	kW (℃)	kW (℃)
	最小	-40 kW (℃)	kW (℃)	kW (℃)

※11：ガスタービン等、外気温により発電出力が変化する場合には、各温度における受電電力を記載
 ※12：連系地点において、受電電力がない (連系地点からの需要供給のみ) 場合は、0を記載

6. 自家消費電力 (発電に必要な所内電力を含む)

最大	40 kW (力率 98%)
最小 ^{※13}	2 kW (力率 98%)

※13：発電の有無に拘わらず必要となる負荷設備の容量を記載

7. 電源線範囲外の系統増強等に関する事項

連系地点における最大の受電電力が全量連系できない場合の検討対象範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 電源線範囲外の系統増強等を含めた検討 電源線範囲外の系統増強等を行わずに連系可能な受電電力での検討
-----------------------------------	--

8. サイバーセキュリティ対策

【留意事項】系統連系に際して、サイバーセキュリティ対策の実施、セキュリティ管理責任者を通知いただく必要があるため、その確認をさせていただきます。

対策	<input type="checkbox"/> 系統連系技術要件に基づいた以下のサイバーセキュリティ対策を実施します。 ・発電事業の用に供する場合は、電力制御システムセキュリティガイドラインに準拠すること。 ・発電事業の用に供さない場合は、以下の対策を講ずること。 1：外部ネットワークや他ネットワークを通じた発電設備の制御に係るシステムへの影響を最小化するための対策 2：発電設備の制御に係るシステムへのマルウェアの侵入防止対策 ・セキュリティ管理責任者 <input type="checkbox"/> 様式1「(8) 連絡先【連絡先】」の記載と同じ <input type="checkbox"/> 様式1「(8) 連絡先【技術的事項に関する連絡先】」の記載と同じ <input type="checkbox"/> その他 氏名 ●●●●
----	--

・記載内容については、仕様書等により確認させていただく場合があります。(検討に必要な項目に記載が無い場合は、別途確認させていただきます。)

・アクセス設備の運用開始希望日は、発電に限らず、電力系統に接続し、アクセス設備を使用可能とする希望日をご記入ください。(発電所の所内電力受電時期等)
 ・試運転で系統連系する予定時期をご記入ください。(発電機の連系開始までには技術要件が整う必要があります。)
 ・託送供給開始(営業運転開始)の予定時期をご記入ください。

・ご希望の受電電圧(高压連系の場合:6.6kV)を記載してください。

・予備電線路を希望される場合は、「有」を選択し、希望する予備送電サービスとその契約電力を記載してください。

・発電機の定格出力合計を記載してください。(太陽光発電設備の場合、逆変換装置とパネル容量の小さい方を記載してください。)
 ・外気温により発電出力が変化する場合は、各温度における最大出力を記載してください。(不明の場合は、定格出力を記載してください。)

・受電地点における最大電力を記載してください。(「様式5-3. 売電の最大値」と合致する必要があります。)

・受電地点における最小電力を記載してください。(添付 様式5の3により確認できる場合は、記載不要です。)

・発電した電力のうち、自家消費する電力(所内電力含む)の最大値と負荷力率を記載してください。(不明の場合は、「0 kW」と記載してください。)

・発電した電力のうち、自家消費する電力(所内電力含む)の最小値と負荷力率を記載してください。(不明の場合は、「0 kW」と記載してください。)

・「電源線範囲外の系統増強等を含めた検討」の場合、最大受電電力を受電するために必要であれば、

【参考:「発電事業」の要件 資源エネルギー庁HPより】
 「発電事業」は、以下のいずれの条件にも該当する発電用の電気工作物について、小売電気事業等の用に供する電力の合計が1万kWを超えるものであること。
 ①出力計1,000kW以上
 ②託送契約上の同時最大受電電力が5割超
 ③年間の逆潮流量(電力量)が5割超

発電設備のセキュリティ管理責任者について、いずれかをご選択ください。その他を選択された場合、氏名をご記載ください。

年 月 日

主要設備仕様 (回転機)

発電設備等設置者名

号発電機

(既設 ・ 新設 ・ 増設)

・水力発電や風力発電など、交流発電設備を用いた連系を希望する場合、こちらの用紙に記載してください。
 (記載内容については、メーカー仕様書等をご確認いただきますようお願いいたします)
 ・検討に必要な項目に記載が無い場合は、別途確認させていただきます。

1. 一般

(1) 原動機の種類 (内燃機関, 風力など)	
(2) 発電機の種類 (同期発電機, 誘導発電機)	
(3) 発電機台数	台
(4) 運転可能周波数	~ Hz
(5) 自動電圧調整装置 (AVR) の有無	有 ・ 無
(6) 自動電圧調整装置 (AVR) の定数 (整定値)	

・原動機および発電機の種類を記載してください。
 (水力発電の場合、原動機:水力発電、発電機:誘導発電機や同期発電機 を記載してください)

・発電機の台数を記載してください。

・発電する際の運転可能周波数を記載してください。

・AVRの有無を記載してください。「有」の場合は、整定値(整定可能範囲・刻み)を記載してください。

2. 昇圧用変圧器

(1) 定格容量		kVA
(2) 定格1次電圧 / 2次電圧		V / kV
(3) タップ切替器仕様	タップ数	
	電圧調整範囲	
(4) %インピーダンス (変圧器定格容量ベース)		%

・昇圧用変圧器を設置される場合、変圧器情報を記載してください。
 (定格容量、定格電圧、タップ切替器の仕様、%インピーダンス)

3. 交流発電機

共通事項	容量		kVA
	定格電圧		V
	定格出力		kW
	出力抑制時の最低出力 (火力・バイオマスの場合)		kW
	力率 (定格)	※1	%
FRT要件適用の有無	有 ・ 無		
同期発電機	(a) Xd (同期リアクタンス)		%
	(b) Xd' (過渡リアクタンス)		%
	(c) Xd'' (初期過渡リアクタンス)		%
	(d) Tdo' (開路時定数)		s
	(e) Tdo'' (開路時定数)		s
	(f) 慣性定数		s
誘導発電機	制動巻線	有 ・ 無	
	(g) x (拘束リアクタンス)		
	限流リアクトル	有 ・ 無	限流リアクトル容量

・設置する交流発電機情報を記載してください。
 (定格容量、定格電圧、定格出力、定格力率(運転可能幅))

・FRT要件適用の有無を記載してください。

・設置する交流発電機が「同期発電機」の場合、各諸元データを記載してください。
 (不明な場合は、発電機メーカーへお問合せください。)

・設置する交流発電機が「誘導発電機」の場合、拘束リアクタンスを記載してください。
 ・限流リアクトルの有無を記載してください。「有」の場合は、限流リアクトル容量を記載してください。

※1 : 発電設備等側から見た値を記載

※2 : (a)、(b)、(c) または、(g) については必ず記載

主要設備仕様 (直流発電設備等) 発電設備等設置者名 _____ 号発電機 _____ (既設 ・ 新設 ・ 増設)	年 月 日
---	-------

1. 一般

(1) 原動機の種類 (内燃機関, 風力・太陽光など)	
(2) 発電機台数 (PCSまたは逆変換装置の台数)	台
(3) 運転可能周波数	~ Hz
(4) 自動電圧調整装置 (AVR) の有無	有 ・ 無
(5) 自動電圧調整装置 (AVR) の定数 (整定値)	

2. 昇圧用変圧器

(1) 定格容量	kVA
(2) 定格1次電圧 / 2次電圧	V / kV
(3) タップ切替器仕様	タップ数
	電圧調整範囲
(4) %インピーダンス (変圧器定格容量ベース)	%

3. 直流発電機

直 流 発 電 装 置	逆 変 換 装 置 (インバータ)	
直流最大出力	電気方式	
最高使用電圧	定格電圧	V
通電電流制限値	定格出力	kW
その他特記事項	力率 (定格)	* %
	力率 (運転可能範囲)	*
	主回路方式	自励式 (電圧式 ・ 電流型)
		他励式
	出力制御方式	電圧制御方式 ・ 電流制御方式
		%抑制 ・ その他 ()
	絶縁変圧器	有 ・ 無
		(直流分検出レベル) A
	最大短絡電流・遮断時間	A ・ ms
	FRT要件適用の有無	有 ・ 無
(測定データ)	高周波 (電波障害, 伝導障害) 対策	
	高調波電流歪率 (総合) % (各次最大) 第 次 %	
その他		

※: 発電設備等側から見た値を記載

・太陽光発電や逆変換装置(PCS)を用いた小水力発電などの連系を希望する場合、こちらの用紙に記載してください。(記載内容については、メーカー仕様書等をご確認いただきますようお願いいたします)
 ・検討に必要な項目に記載が無い場合は、別途確認させていただきます。

・原動機の種類および発電機の台数を記載してください。

・発電する際の運転可能周波数を記載してください。

・AVRの有無を記載してください。「有」の場合は、整定値(整定可能範囲・刻み)を記載してください。

・昇圧用変圧器を設置される場合、変圧器情報を記載してください。
(定格容量、定格電圧、タップ切替器の仕様、%インピーダンス)

・設置する直流発電装置情報を記載してください。
(太陽光発電設備の場合、パネル出力を記載してください。直流最大出力は、パネル総出力を記載してください。)
 ・その他特記事項へは、発電設備の内訳を記載してください。

・設置する逆変換装置の各諸元データを記載してください。
(電気方式、定格電圧、定格出力、定格力率(運転可能幅)など)

・絶縁変圧器の有無を記載してください。
 ・「無」の場合は直流分検出レベル(直流分検出リレー整定値)を記載してください。

・逆変換装置の最大短絡電流ならびに遮断時間を記載してください。
(機器未定の場合など、不明の場合は定格容量の1.5倍として検討します。)

・FRT要件の有無を記載してください。

・電波障害や伝導障害への対策がある場合は、対策内容を記載してください。(無い場合は空欄)
 ・逆変換装置の総合電流歪率および各次電流歪率の最大値とその次数を記載してください。

年 月 日

発電設備仕様（二次励磁巻線形誘導機）

発電設備等設置者名 _____

号発電機 _____

（ 既設 ・ 新設 ・ 増設 ）

1. 全般

(1) 原動機の種類（風力など）	
(2) 発電機台数	[台]

・原動機の種類および発電機の台数を記載してください。

2. 交流発電機

(1) メーカー・型式	【メーカー】	【型式】
(2) 電気方式	三相3線式 ・ 単相3線式 ・ 単相2線式	
(3) 定格容量	[kVA]	
(4) 定格出力	[kW]	
(5) 出力抑制時の最低出力 （火力・バイオマスの場合）	[kW]	
(6) 定格電圧	[kV]	
(7) 力率	定格	* [％] 運転可能範囲 * 遅れ [％]～進み [％]
	調整範囲	* 力率設定範囲： [％]～ [％] 力率設定ステップ： [％]
(8) 定格周波数	[Hz]	
(9) 連続運転可能周波数	[Hz] ～ [Hz]	
(10) 運転可能周波数 (s)	[Hz] ～ [Hz]	
(11) 系統並解列箇所	添付 様式5の4 参照	
(12) 自動的に同期がとれる機能の有無	有 ・ 無	
(13) 誘導発電機諸定数 (基準容量 kVA)		
(a) 拘束リアクタンス	(X_i)	[％]
(14) 二次励磁装置種類		
(a) 主回路方式	他励式インバータ ・ その他 () 電圧型 ・ 電流型	
(b) 出力制御方式	電圧制御方式 ・ 電流制御方式 PWM ・ PAM (サイリスタ)	
(15) 事故時運転継続 (FRT) 要件適用の有無	有 ・ 無	
(16) 高調波電流歪率	総合	[％]
	各次最大	第 次 [％]

・設置する交流発電機情報を記載してください。
（メーカー、型式、定格容量、定格出力、定格電圧）

・発電する際の力率を記載してください。

・発電する際の定格周波数等を記載してください。
（定格周波数、連続運転可能周波数、運転可能周波数）

・自動同期機能の有無を記載してください。

・誘導発電機諸定数を記載してください。

・二次励磁装置の種類を記載してください。

・FRT要件の有無を記載してください。

・高調波電流歪率を記載してください。

※：発電設備等側から見た値を記載

【留意事項】

- 異なる仕様の発電機がある場合は、本様式を複写し、仕様毎にご記載ください。
- 系統安定度の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

・風力発電など、二次励磁巻線形誘導機を用いた連系を希望する場合、こちらの用紙に記載してください。
（記載内容については、メーカー仕様書等をご確認いただきますようお願いいたします）
・検討に必要な項目に記載が無い場合は、別途確認させていただきます。

年 月 日

発電設備仕様 (逆変換装置)

発電設備等設置者名 _____

号発電機 _____

(既設 ・ 新設 ・ 増設)

1. 全般

(1) 原動機の種類 (風力, 太陽光など)	
(2) 台数 (逆変換装置またはPCSの台数)	[台]

2. 逆変換装置

(1) メーカー・型式	【メーカー】	【型式】
(2) 電気方式	三相3線式 ・ 単相3線式 ・ 単相2線式	
(3) 定格容量		[kVA]
(4) 定格出力		[kW]
(5) 出力変化範囲	[kW] ~	[kW]
(6) 定格電圧		[V]
(7) 力率 (定格)		[%]
(8) 力率 (運転可能範囲)	遅れ [%] ~ 進み [%]	
(9) 定格周波数		[Hz]
(10) 連続運転可能周波数	[Hz] ~	[Hz]
(11) 運転可能周波数 (秒)	[Hz] ~	[Hz]
(12) 自動電圧調整機能	進相無効電力制御機能・出力制御機能・その他 ()	
(13) 自動同期検定機能 (自励式の場合)	有 ・ 無	
(14) 系統並解列箇所	添付 様式5の4 参照	
(15) 通電電流制限値		[%]
		[s]
(16) 主回路方式	自励式 (電圧形 ・ 電流形)	
	他励式	
(17) 出力制御方式	電圧制御方式・電流制御方式・その他 ()	
(18) 事故時運転継続 (FRT) 要件適用の有無	有 ・ 無	
(19) 高調波電流歪率	総合	[%]
	各次最大	第 次 [%]

※：発電設備等側から見た値を記載

【留意事項】

- 異なる仕様の逆変換装置がある場合は、本様式を複写し、仕様毎にご記載ください。
- 電圧変動の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

・逆変換装置(PCS)を用いた発電設備などの連系を希望する場合、こちらの用紙に記載してください。
 (記載内容については、メーカー仕様書等をご確認いただきますようお願いいたします)
 ・検討に必要な項目に記載が無い場合は、別途確認させていただきます。

・原動機の種類および発電機の台数を記載してください。

・設置する逆変換装置情報を記載してください。
 (メーカー、型式、定格容量、定格出力、定格電圧)

・発電する際の力率を記載してください。

・発電する際の定格周波数等を記載してください。
 (定格周波数、連続運転可能周波数、運転可能周波数)

・自動電圧調整機能を記載してください。

・自動同期検定機能の有無を記載してください。

・通電電流制限値を記載してください。

・主回路方式を記載してください。

・出力制御方式を記載してください。

・FRT要件の有無を記載してください。

・高調波電流歪率を記載してください。

4. 保護リレー等

機器名称 () ()	系	製造者	型 式	定 格 容 量 V A V A	遮 断 容 量 A A	動 作 時 間 s(%) s(%)	備 考
V T				V/ V	—	負担: VA	
				V/ V	—	負担: VA	
C T				A/5A	過電流強度 過電流定数 機械的耐電流		
P D				pF	Z P D	V/ V	
Z C T					A		

・機器の仕様等が未確定(不明)な場合は、分かる範囲で記載してください。
(検討に必要な項目に記載が無い場合は、別途確認させていただきます。)

・連系用遮断器、VT、CT、PD、ZCTの仕様について記載してください。

記号	リレー名称	系	製造者	型 式	相 数	整 定 範 囲	
OCR-H (51R)	過電流	主				電流:	瞬時:
						時限:	
DGR (67GR)	地絡方向	主				電流:	電圧:
						時限:	
OVGR (64R)	地絡過電圧	1				電圧:	時限:
		2				電圧:	時限:
DSR (67S)	方向短絡	1				電流:	時限:
						電圧:	
		2				電流:	時限:
						電圧:	
OVR (59R)	過電圧	1				電圧:	時限:
		2				電圧:	時限:
UVR (27R)	不足電圧	1				電圧:	時限:
		2				電圧:	時限:
OFR (95H)	周波数上昇	1				電圧:	時限:
UFR (95L)	周波数低下	1				電圧:	時限:
		2				電圧:	時限:
RPR ※ (67P)	逆電力	1				電力:	時限:
		2				電力:	時限:
UPR ※ (91L)	不足電力	1				電力:	時限:
		2				電力:	時限:
単独運転検出要素 (受動:)						整定値:	時限:
単独運転検出要素 (能動:)						整定値:	時限:

・保護継電器の仕様について記載してください。
(整定範囲欄へは、整定可能な値を記載してください。)

・単独運転検出機能(受動・能動)の方式および整定値、時限を記載してください。
(整定範囲欄へは、整定可能な値を記載してください。)

・電圧上昇抑制機能の有無について記載してください。

・電圧変動抑制機能の有無について記載してください。

・自動負荷遮断装置の有無について記載してください。

・自動同期検定装置の有無について記載してください。
・「有」の場合は、装置の仕様について記載してください。

付加機能に関する事項	※遮断機なしの場合	
	・電圧上昇抑制機能	無
・発電機並列時・脱路時の電圧変動抑制機能	無	・ 有
・自動負荷遮断装置	無	・ 有
・自動同期検定装置	無	・ 有
	電 圧	%、周波数差 Hz
	位相差	度、前進時間 s
・その他		

負荷設備および受電設備

発電設備等設置者名

1. 負荷設備

(1) 合計容量		kW
(2) 総合負荷力率		%

・負荷設備の仕様等が未確定(不明)な場合は、分かる範囲で記載してください。
(検討に必要な項目に記載が無い場合は、別途確認させていただきます。)

・負荷設備の合計容量を記載してください。
・負荷設備の総合負荷力率を記載してください。

2. 受電用変圧器

(1) 定格容量		kVA
(2) 定格電圧		
(3) タップ切替器仕様	タップ数	
	電圧	kV
(4) %インピーダンス (変圧器定格容量ベース)		%
(5) 台数		台

・受電用変圧器の仕様を記載してください。
(様式3. 発電機の昇圧用変圧器と兼ねる場合は記載不要です。)

3. 調相設備※1

(1) 種類		
(2) 電圧別容量	高圧	
	低圧	
(3) 合計容量		
(4) 自動力率制御装置の有無		有 ・ 無

・調相設備の仕様を記載してください。
(上記1. 負荷設備_総合負荷力率 に調相設備を含む場合は記載不要です。)

※1. 「総合負荷力率」に調相設備を含む場合は不要

4. 高調波発生機器 (有 ・ 無)

※高調波発生機器を有する場合には、「高調波抑制対策技術指針(JEAG9702)」の高調波流出電流計算書を添付してください。

・高調波発生機器の有無を記載してください。「有」の場合、対策の有無を記載してください。

5. 電圧フリッカ発生源 (有 ・ 無) 電圧フリッカ対策 (有 ・ 無)

対策設備の概要 ※電圧フリッカ対策有の場合は資料を添付してください。

・電圧フリッカ発生源の有無を記載してください。
「有」の場合、対策の有無を記載してください。
・電圧フリッカ対策「有」の場合、対策方法に関する資料を別途添付し、対策概要を記載してください。

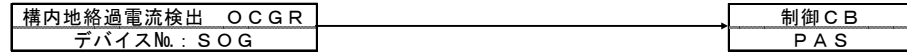
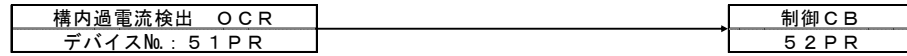
6. 特記事項

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

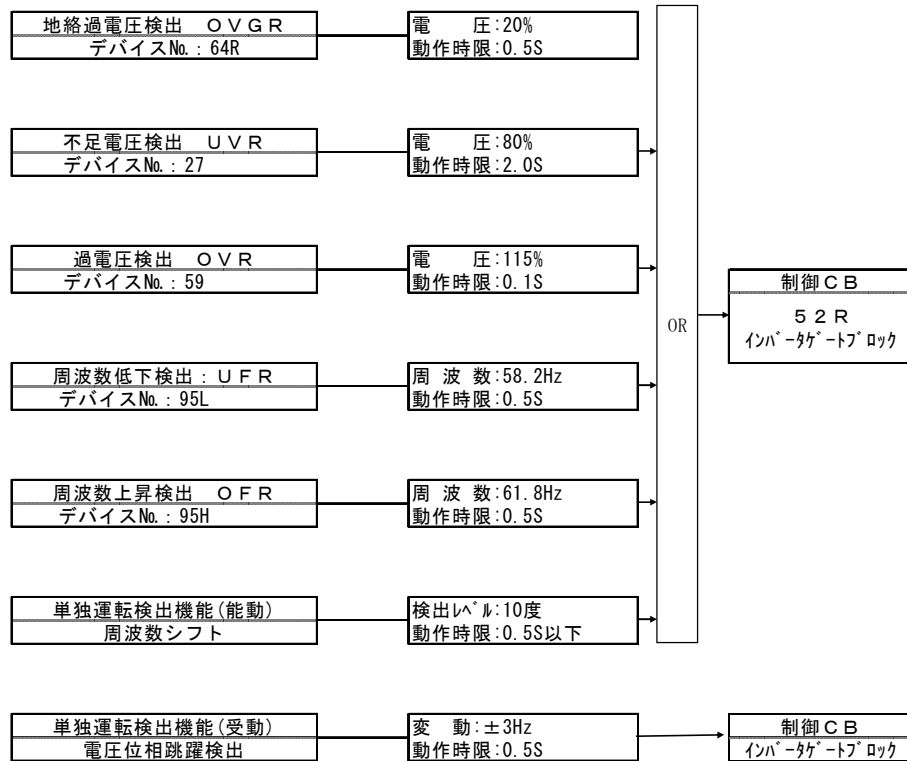
年 月 日

発電設備等設置者名

主 発 電 機 系 ブ ロ ッ ク 図
 - 励 磁 系 -



・左記のように保護継電器系ブロック図(整定値)を記載してください。



※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

年 月 日

発電設備等設置者名

発電機制御系ブロック図
ー ガ バ ナ 系 ー

・発電機制御系(保護継電器含む)電源回路図を記載してください。
(三線結線図(接続展開図)などにより代用可能です。)

※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

年 月 日

発電設備等設置者名 _____

設備運用方法

— 発電機運転パターン、受電地点における受電電力パターン —

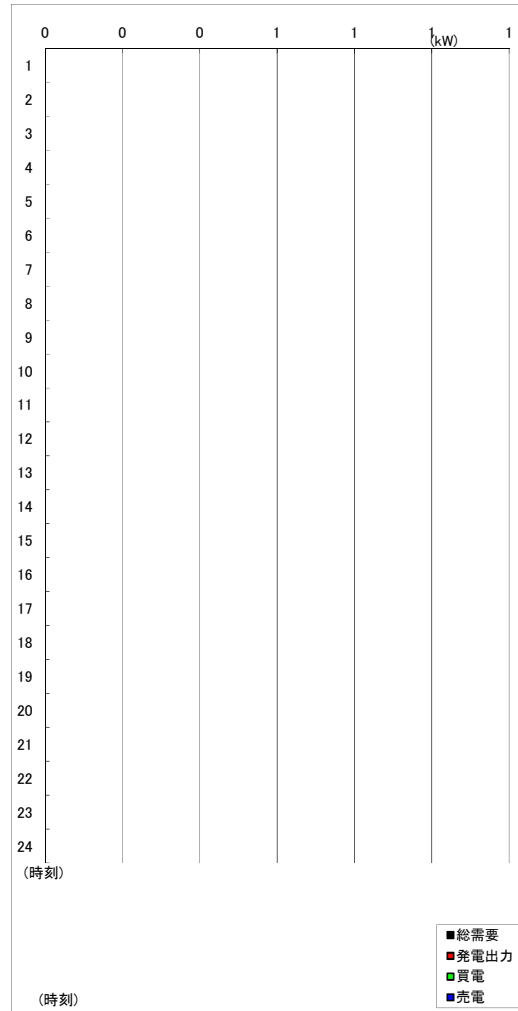
操業態様: _____

月間予想日数: _____ 日
年間予想日数: _____ 日

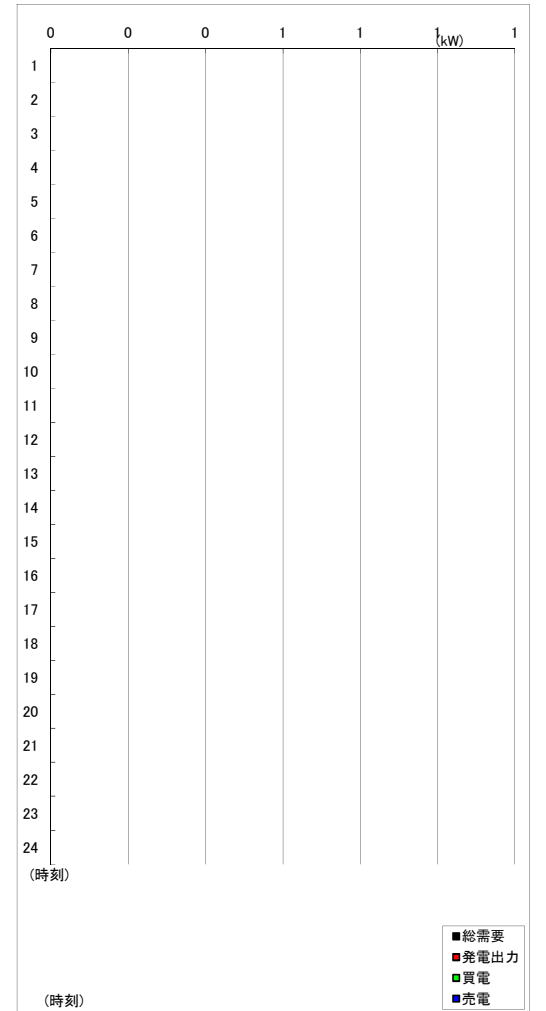
操業態様: _____

月間予想日数: _____ 日
年間予想日数: _____ 日

	総需要 (kW)	発電出力 (kW)	買電 (kW)	売電 (kW)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
合計	0	0	0	0
(30分)最大				
最大	0	0	0	0
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!



	総需要 (kW)	発電出力 (kW)	買電 (kW)	売電 (kW)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
合計	0	0	0	0
(30分)最大				
最大	0	0	0	0
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!



・いずれかの操業状態において、「様式2. 受電地点における最大受電電力値」と「売電の最大値」が合致する必要があります。

＜記載事項＞
この様式は、予想されるあらゆる操業態様ごとの日負荷曲線を記入して頂くものです。
1. 操業態様は次の状態ごとに分けてください。
(i) 正常操業状態(各季節ごとに) (ii) 定検期間中 (iii) 発電設備事故時 (iv) 買電事故時 (v) その他予想されるあらゆる操業態様時
2. 右欄の負荷曲線は総需要(黒)、発電出力(赤)、買電(緑)、売電(青)に色分け
3. 様式が足りない場合は、コピーして使用してください。

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

年 月 日

発電設備等設置者名

単線結線図

・別添により代替可能です。
(各PCSに連系されるパネル枚数および容量についても記載してください。)

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

年 月 日

発電設備等設置者名

設備配置関連
- 主要設備レイアウト図 -

・別添により代替可能です。
(左下の注意事項をご確認のうえ、作成願います。)

※計量器・VCT・通信端末ならびに受電設備の設置場所がわかるよう記載
※計量器・通信端末設備の設置仕様（壁掛け・自立盤）が決まっていれば記載
※通信ケーブルの引込ルートの指定があればわかるよう記載

縮 尺

1 /

(必ずご記載ください)

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

年 月 日

発電設備等設置者名

設備配置関連
敷地平面図

・別添により代替可能です。
 ※隣接する土地と明確に区分されていることが解るよう記載してください。
 ※最寄りの当社電柱番号と事業者さま構内柱(受電地点)の位置関係を記載してください。
 (近隣に当社の電柱がない場合は、別途縮尺の異なる平面図を用いて周辺の電柱施設状況を記載してください。)

縮 尺

1 /

(必ずご記載ください)
縮尺は1/25,000か1/50,000としてください。

※計量器・VCT・通信端末ならびに受電設備の設置場所がわかるように記載
 ※通信ケーブルの引込ルートの指定があればわかるように記載

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

年 月 日

発電設備等設置者名

発電場所周辺地図

・別添により代替可能です。
※地図等のコピーへ発電設備設置場所を記載してください。

縮 尺

1 /

(必ずご記載ください)
縮尺は1/25,000か1/50,000としてください。

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズまたはA4サイズとしてください。

年 月 日

発電設備等設置者名

工 事 工 程 表

・別添により代替可能です。
※発電設備の工事期間、アクセス設備の運開希望日、系統連系希望日等を記載願います。

記入例

連絡先体制・保安体制に関する資料

連系申込時までにご準備ください。(覚書の作成に使用します)

○連絡責任者

氏名(名称)、職務名	・発電設備設置者名、所属会社、職務を記載してください。
住 所	・連絡責任者の所在が分かる住所を記載してください。 (会社に所属している場合は、会社住所を記載してください。)
電 話 番 号 (保安通信電話)	・一般加入電話または携帯電話等で、単番方式・キャッチホン方式・停電時でも通話可能な電話番号を記載してください。
休日・緊急時の連絡先・連絡者	・緊急時の連絡先、連絡者を記載してください。

○電気主任技術者

氏名(名称)、職務名	・主任技術者の氏名、所属会社、職務を記載してください。
住 所	・主任技術者の所在が分かる住所を記載してください。 (会社に所属している場合は、会社住所を記載してください。)
電 話 番 号 (休日・緊急時の連絡先・連絡者)	・緊急時の連絡先、連絡者を記載してください。

※系統事故の発生時など、当社からの緊急連絡先が上記の「電気主任技術者」ではなく、「連絡責任者」の場合は、その旨を記載してください。

○技術的内容の問い合わせ先

販 売 店	名 称	・当社から発電設備に関する技術的な問合せを行う場合の連絡先を記載願います。
	担 当 者 名	
	住 所	
	電 話 番 号	
工 事 店	名 称	・当社から発電設備工事に関する技術的な問合せを行う場合の連絡先を記載願います。
	担 当 者 名	
	住 所	
	電 話 番 号	